1 1

アが相次いで出された。 に宇都宮市内で開催。企業側にとって「目からうろこ」のアイデ 表)を立ち上げた。活動第1弾として、県内企業の製品の方向性 社が連携し「フィールウェアプロジェクトとちぎ」 や販路開拓に向け女性たちが率直に意見を出し合う企画を7月末 女性の感性をものづくりに反映させようと、県内外の異業種3 (下川真季代 岡田優子

8月2日 の下川氏、女性起業支援ス ルティング業ダヴィンチ・ ェア製品を展開するコンサ 術を融合させたフィールウ ブレインズ(東京都)社長 企画したのは、 感性と技

の感性で磨き挙げ、国内外 品加工ナック(宇都宮市) の金沢直文社長の3氏。も 浅野裕子代表理事、金属部リーアクト(宇都宮市)の のづくり企業の製品を女性 に発信する に意見を出した。

び掛けで個 起業を目指 浅野氏の呼 のが狙い。 人事業主や 会場には

(那珂川町)

は、

す18人の女

性が集まっ

2016年(平成28年)

泉博副社長は「催も発案され、 じていた。 イリン(塩谷町)は天井の に取り付け可能な照明を紹 望が見えた。コンペも真剣 品アレルギーの子ども向け がいい」「離乳食や、乳製 ットは高齢者や子どもの方 高カロリーなので、ターゲ に考えたい」 デアが次々と飛び出した。 性などから「栄養価が高く ケーキはどうか」などアイ レール上にレイアウト自由 このほか金属部品加工セ も発案され、同社の小商品化に向けたコンペ開 と手応えを感 「明るい展

自社商品について女性から提案を 受けるミツトヨフーズの小泉副社 (左) =宇都宮市

やすいか」「わくわくする た。 県内3社が商材を説明 すると、女性たちは「使い か」といった観点で積極的 ゆば製造販売ミットヨフ 介。ナックはペットボトル

それに対し、子育て中の女 ば」のデザート化を提案。 をターゲットに「濃厚本ゆ 出された意見を取り入れ製 されていた。各社は今後、 のキャップを簡単に開封で 明し、改良点が次々と指摘 きるアルミ製品の試作を説 品づくりを進める予定。

同プロジェクトは年内に

2回目を開催予定で、 企業を募るという。

参加